環 境 経 営 レ ポ ー ト

１・環境経営方針

２・組織の概要

３・実施体制図

４・中期環境目標（2020年度～2022年度）

５・環境経営活動計画

６・目標に対する実績

７・環境活動計画の実施状況とその評価
　および次年度の取り組み内容

８・環境関連法規等の遵守状況

９・代表者による全体評価と見直し

対象期間　：　2021年 4月1日から2022年3月31日
発　行　日　：　2022年4月26日
改　訂　日　：

株式会社　植木製作所

令和3年度 環 境 経 営 基 本 方 針

当社は経営方針に環境整備活動を織り込み特に二酸化炭素削減、廃棄物削減およびグリーン購入を推進し全社員で地球環境保全に努めます。

行 動 方 針

1. 消費電力及び化石燃料を抑え二酸化炭素排出量削減に取組みます。
2. 生産工程から排出される産業廃棄物の削減に取組みます。
3. 水使用量の削減に取組みます。
4. 環境に配慮したグリーン購入を進めます。
5. 環境関連の法規、規制、及び 当社が同意したその他 要求事項を遵守し環境保全に努めます。
6. 工場敷地内外の環境整備に取組み地域との環境コミニュケーションを図り環境活動に取組みます。
7. 全員参加で生産工程における不良率の削減を図り環境教育によりEA21を維持管理する。

全員で改善活動を推進することにより、環境経営の継続的改善に取り組む。

品 質 方 針

当社は、全員参加で品質第一に徹し、品質改善・技術向上に努め

お客様に満足と、信頼して頂ける品質を提供します。

品 質 目 標

全員参加で

1. 品質管理に努め、お客様先での不良件数0件/年以下を目標とする。
2. 生産管理に努め、納入遵守率97%以上を達成する。
3. 基本ルールを守り、不良発生件数80件/月以下を達成する。
4. 日々品質改善により、不良率0.131%以下を達成する。
5. 品質教育（2件/月以上）により、品質意識への向上に努める。

令和3年4月1日
株式会社 植木製作所
代表取締役社長 栗原 尉二

2・ 組織の概要

1)事業者名及び代表者名

株式会社 植木製作所　　（平成27年4月1日付 社名変更）
代表取締役社長　栗原 尉二

2)所在地

本社　　〒861-0103　熊本市北区植木町清水375

亀甲工場　〒861-0127　熊本市北区植木町亀甲356-1

益城工場　〒861-2231　熊本県上益城郡益城町安永1400
（認証登録範囲外:ISO14001取得済）

3)環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者　専務取締役 藤本 哲夫　（平成27年4月1日～）

事務局　　坂梨 真也

連絡先　電話　096-272-2247
FAX　096-272-7535
e-mail　seisan@mx22.tiki.ne.jp
URL　http://www.iseki-ueki-nouki.com/

4)事業の内容

精密機械部品製作加工並びにプレス・溶接

5)事業の規模

主要製品生産量　　年間約 2.2万点

従業員　　47名　（パート含む)(2020年 3月末現在）

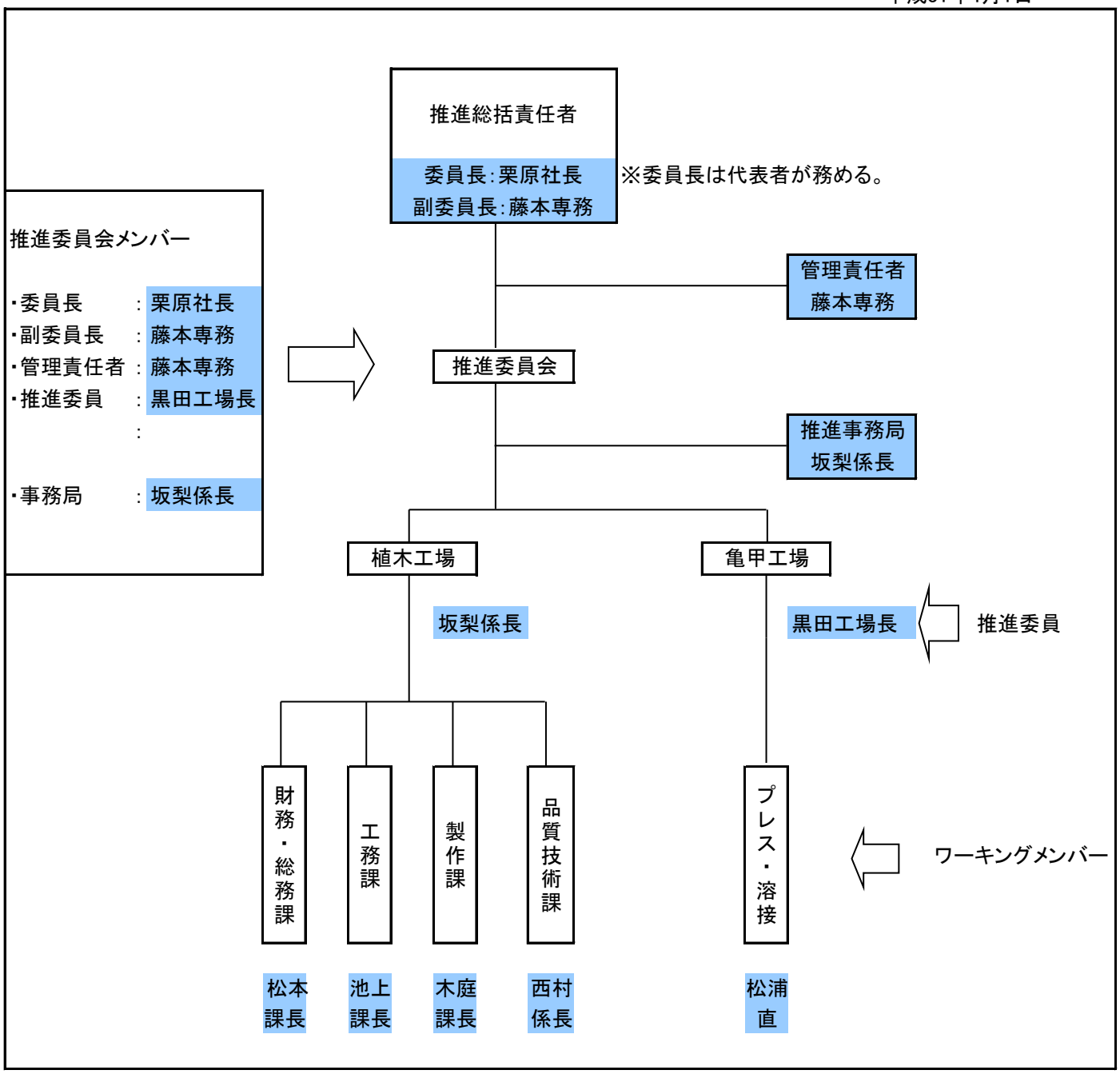
延べ床面積　　4245m2

6) 認証登録範囲

全社全活動ただし益城工場についてはISO14000準拠する。

3.実施体制図

平成31年4月1日



エコアクション21推進役割表

役 割 名	役 割
推進総括責任者	1. 管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。 2. 環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営諸資源(人材・資金など)を準備する。 3. 環境経営に関する基本理念・長期戦略・基本方針を制定し、基本的な目標を設定する。 4. 方針・目標をはじめ、システム全体の見直しを行い、必要あれば改定を指示する。
推進副委員長	推進委員長、及び管理責任者を補佐し、環境システムの運用と改善を推進する。
管理責任者	1. 環境経営システムの合理化・効果的な運用を図り、その状況を代表者に提供する。 2. 環境責任者は、代表者に代わり、環境経営システム全体の構築・運用に責任を持つ。
推進事務局	1. 各部署への指示・連絡・日程等のフォロー。 2. 日常的な課題の解決・調整を行う。
推進委員	自己の範囲管理内において、全員参加による環境経営システムの運用及び管理に責任を負い、課内の必要な人材育成、パフォーマンスの向上を図る
ワーキングメンバー	自己の範囲管理内において、全員参加による環境経営システムの運用及び管理に責任を負い、パフォーマンスの向上を図る。

4・ 中期環境経営目標（2020～2022年度）

目標事項	単位	2019年度基準	2020年度 （-1%）	2021年度 （-1.5%）	2022年度 （-2%）
1. 電力使用量の削減	kWh	990,906	980,997	976,042	971,088
CO2排出量（CO2換算係数 0.480）	kg-CO2	475,635	470,879	468,500	466,122
2. 軽油使用量の削減	L	17,333	17,160	17,073	16,986
CO2排出量（CO2換算係数 2.58）	kg-CO2	44,719	44,272	44,048	43,825
3. ガソリン使用量の削減	L	1,764	1,746	1,738	1,729
CO2排出量（CO2換算係数 2.32）	kg-CO2	4,092	4,052	4,031	4,011
4. A重油使用量の削減	L	900	891	887	882
CO2排出量（CO2換算係数 2.71）	kg-CO2	2,439	2,415	2,402	2,390
◇二酸化炭素排出量の削減 （上記1.2.3.4のCO2排出量合計）	kg-CO2	526,886	521,617	518,982	516,348
5. 産業廃棄物リサイクルの向上	%	97.1	99.3	99.4	99.5
6. 水使用量の削減	m3	332	329	325	322
			-1%	-2%	-3%
7. グリーン購入率の向上 （エコマーク事務商品購入額）÷（全事務用品購入額）×100	%	62.7	63.7	64.7	65.7
8. 不良件数の低減 （工程内不良）	件	目標 941 実績 824	932	927	922

※1 令和2年度九州電力の調整後排出係数 0．48Okg-CO2/kWh
※2 LPGはお茶給仕のみに使用する。CO2排出量の割合は0.002%なので目標には設定せず日常で管理していく。

5・環境経営活動計画

環境経営活動計画（2021年度）　　評価基準：○ 実施済み

担当部署	総合事務所	本社工場事務所	本社工場	亀甲工場	亀甲工場事務所
推進者	池上課長	坂梨係長	木庭課長	黒田工場長	黒田工場長
電力使用量の削減	○働き方改革推進 ○残業時間短縮 ○休日出勤減少 ○社員の意識向上 ○社員の健康管理	○不要照明オフ ○エアコン温度設定 夏28℃　冬20℃ ○コピー枚数節約、 ミスコピー防止	○非稼働設備電源オフ ○生産会議の徹底と情報共有 ○生産性向上 ○不良件数減少 **○工程管理徹底**	○不要照明オフ ○非稼働設備電源オフ ○コピー枚数節約 ミスコピー防止	○不要照明オフ ○エアコン温度設定 夏28℃　冬20℃ ○コピー枚数節約、 ミスコピー防止
軽油使用量の削減	○エコドライブ 社員の自覚	○エコドライブ ○エコドライブ教育	○定期便の活用 **○定期外運搬の減少**	○エコドライブ ○エコドライブ教育	○フォークリフトの動線改善
ガソリン使用量の削減	○エコドライブ 社員の自覚	○エコドライブ ○エコドライブ教育	**○急な納品減少** ○不良件数減少		
A重油使用量の削減			○フォークリフトの動線改善 ○レイアウト改善		
廃棄物リサイクル率の向上		○リサイクル可能廃油の処理指導	**○不良件数減少による産廃の減少**		
水使用量の削減			○水溶性切削液の再利用		
グリーン購入率の向上	グリーン製品の優先購入				
工程不良率の低減			○新受注品の加工法検討 ○前工程検査 ○個人教育の徹底		

６・ 目標に対する実績評価

目標事項	単位	2019年度基準	2021年度目標	2021年度実績	達成率	
1. 電力使用量の削減	kWh	990,906	976,042	1,037,026	94%	
CO2排出量（CO2換算係数 0.480）	kg-CO2	481,580	468,500	497,772	94%	
2. 軽油使用量の削減	L	17,333	17,073	16,678	102%	
CO2排出量（CO2換算係数 2.58）	kg-CO2	44,719	44,048	43,029	102%	
3. ガソリン使用量の削減	L	1,764	1,738	1,387	125%	
CO2排出量（CO2換算係数 2.32）	kg-CO2	4,092	4,031	3,218	125%	
4. A重油使用量の削減	L	900	887	860	103%	
CO2排出量（CO2換算係数 2.71）	kg-CO2	2,439	2,402	2,331	103%	
◇二酸化炭素排出量の削減 （上記1.2.3.4のCO2排出量合計）	kg-CO2	532,831	518,982	546,350	95%	
5. 廃棄物リサイクルの向上	%	97.1	99.4	98.2	99%	
6. 水使用量の削減	m3	332	325	308	106%	
7. グリーン購入率の向上 （エコマーク事務商品購入額）÷（全事務用品購入額）×100	%	62.7	64.7	72.6	112%	
8. 不良件数の低減 （工程内不良）	件	824	927	698	対目標	133%
					対2019年	118%

7・環境活動計画の実施状況とその評価及び次年度の取り組み内容

1、電力使用量の削減

環境経営目標は未達成だった。

残業・休日出勤の減少：電気使用が多い設備の稼働時間が減少した。

要因は、生産量が増加したことにある。残業時間は減少している。

・2020年度受注部品生産量：507t　2021年度受注部品生産量：733t

昨年比でも生産量が1.4倍である。

改善の方策（次年度の取組）

・業務の効率化も推進していく。現在も継続して生産性の向上に取り組んでいる。

2、軽油使用量

環境経営目標は達成できた。

トラックの効率の良い運搬ができた。

要因は、運搬頻度を減少する施策を実施し、功を奏した。

・顧客と交渉し、定期便制を活用するようにした。（曜日を決めて運搬するようにした。）

改善（次年度の取組）

・定期便使用推進。外部へ不適合品を出さないことで定期外の運搬頻度を減少する。

3、ガソリン使用量の削減

環境経営目標は達成できた。

ガソリンは、ライトバン（ガソリン車）の運用のみである。効率が良い運搬ができた。

要因は、ライトバンの急な使用を減少する施策を実施し、功を奏した。

・小部品の品質を向上させ、急な納品の使用を減少する施策を実施した。

改善（次年度の取組）

・品質向上推進。外部へ不適合品を出さないことで定期外の運搬頻度を減少する。

4、A重油使用量の削減

環境経営目標は達成できた。

本社工場のフォークリフト2台がA重油を使用している。稼働時間を減少させた。

要因は、生産性向上のためにレイアウト変更を実施した。

・材料や半製品、製品の移動距離、稼働時間が減少した。（動く範囲の短縮）

改善（次年度の取組）

・工場内の動線を明確にし、最短で人、モノの移動ができるように改善していく。

5、廃棄物のリサイクル率の向上

産廃は廃油のみの処分だった為、リサイクル率が下がった。

（内訳）　単位＝t

$$\frac{\text{（リサイクルされる物）}\ 211.60}{\text{（総排出量）}\ 215.4} \times 100 = 98.24\%$$

※総排出量：211.6+5.8=215.4

リサイクルされる物の内訳

金属くず2	209.20
廃油	2.40
合計	211.60

リサイクルされない物の内訳

可燃ごみ	5.8

6、水使用量

環境経営目標は達成できた。こまめな節水で前年より使用量が減った。

・水は設備の冷却水と生活に使用する水に分けられる。合計しても使用量は少ない。

・社員のモラル向上の啓発もあり、社員の節水意識は高いと思われる。

・井戸水を使用しているために飲料水は、持参する社員が多い。節水活動を継続していく。

7、グリーン購入率の向上

環境経営目標は達成できた。・これからもグリーン購入を進めていく。

8、不良件数の低減

環境経営目標は達成できた。目標・前年対比で大きく下がった。

・この項目が、当社の最重要活動であり、日頃から全社員で取り組んでいる活動である。

・上記で記載したように、この生産の改善活動が重要な環境活動であり、顧客に信頼を得ている結果を出している活動である。ここでは言い尽くせない創意・工夫、努力を積み重ねた改善を実践してきた。これからも最重要課題として取り組んでいく。

8・環境関連法規等の遵守状況一覧表

2021年度

検討した環境関連法規	遵守事項	遵守評価	担当者	確認日付
水質汚濁防止法	工場及び事業所からの公共用水域への排出及び地下水への浸透を規制、水質検査実施	○	坂梨	2022/4/7
熊本県地下水保全条例	揚水設備（ポンプ）地下水採取・採取量の届出申請済み	○	坂梨	2022/4/7
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	産業廃棄物保管場所の表示　マニフェストの管理（5年間の保存）　マニフェスト交付状況報告	○	坂梨	2022/4/7
労働安全衛生法	安全ﾃﾞｰﾀｼｰﾄの取り寄せ保管等(SDS)	○	坂梨	2022/4/7
騒音規制法 振動規制法	空気圧縮機(7.5kw以上)の届出申請済み プレス機　4台　申請済み	○	坂梨	2022/4/7
熊本県生活環境の保全等に関する条例　騒音特定施設設置届出	圧縮機原動機の定格出力2.25kw以上7.5kw未満　空気圧縮機以外は2.25kw以上の物に限る	○	坂梨	2022/4/7
地球温暖化防止法	温室効果ガスの排出削減に取組中(二酸化炭素・メタン・一酸化二窒素・代替フロン等)	○	坂梨	2022/4/7
水質汚濁防止法の県独自の排水基準を定める条例	生物化学的酸素要求量（BOD）60mg/l　化学的酸素要求量（COD）160mg/l	○	坂梨	2022/4/7
消防法	防火対象物の管理と火災の予防及び適切な油脂類保管と管理	○	坂梨	2022/4/7
浄化槽法	浄化槽で確実に排水をきれいにする為に保守点検清掃、法定検査が義務づけされている	○	坂梨	2022/4/7
フロン排出抑制法	業務用エアコン室外機の定期点検の実施と廃棄時の適切な管理を実施する	○	坂梨	2022/4/7

遵守違反は有りませんでした、また、利害関係者からの指摘事項及び訴訟等は1件もありませんでした。

9・代表者による評価と見直し

当社での環境活動エコアクション21も16年間を経過しました。
その間社員一人一人の取組みも定着してきたようです。
毎朝の環境活動も20分の時間をとり全員参加で継続しています。

今後の取組みの最重要課題として

1.工程内不良のゼロを目標とし、まずはロット不良を無くし、再発防止を徹底し
時間の無駄、材料・経費・電力量等、資源の無駄を省く。

2.取引先への注文残を無くし、運搬回数の減少によりガソリン・軽油の削減
及び残業・休日出勤の削減に取り組みます。

代表者の見直し

過去年の課題であった不良件数の低減については、一定の評価が出来る年でした。

2021年度も、グループ単位・各個人のスキルアップをして、不良件数の低減
及び、電気使用料の削減に努めてまいります。

環境経営方針、目標及び計画、実施体制は、継続していきます。

2021年4月9日

代表取締役社長

栗原　尉二